

講座・部門紹介

URL http://www.fmu.ac.jp/home/public_h/index.htm

当講座の特徴は、「人」を対象とした研究のみを行っている点です。公衆衛生学とは、患者を含め、人々の健康の保持・増進をめざす実践科学です。具体的には、現実の医療現場における課題や社会のさまざまな問題を、(臨床)疫学的手法を用いて分析し、科学的な根拠(Evidence)を示し、解決策の提言を行っています。“Think globally, act locally”をモットーに、「ゆりかごから、看取りまで」をカバーした研究を行っている当講座では、臨床医学講座との共同研究を積極的に推進するとともに、臨床研究の支援を行っています。

staff スタッフ紹介



教授 安村 誠司

昭和52年 東京都立白鷗高等学校卒業
昭和59年 山形大学医学部卒業
昭和63年 山形大学大学院医学研究科修了
教育専門分野
公衆衛生学／疫学／医学統計学
研究分野
1) 生活習慣病の(臨床)疫学
2) 老年学(転倒・骨折他)
3) 政策科学(介護予防)
4) 国際保健
5) 精神保健
学会活動等
日本学術会議連携会員
趣味：ジョギング、映画・演劇鑑賞

研修医、臨床医入学時の研究分野

1. 乳幼児の感染症の関連要因
2. 生活習慣病の治療効果の評価など臨床疫学的研究
3. 健診項目の生命予後の予測妥当性
4. 骨折患者におけるADL、QOLの規定要因
5. 各種心理検査項目の臨床的意義の検討など

講座・部門の主な研究内容

1. 生涯を通じた健康課題
 - 1) 母子保健(妊娠・出産・育児に関する疫学)
 - 2) 生活習慣病の(臨床)疫学
 - 3) 老年学(転倒・骨折、閉じこもり等の(臨床)疫学)
 - 4) 精神保健・健康心理
 - 5) 感染症の疫学と対策
2. 政策科学(介護保険・医療保険制度の見直し)
3. 国際保健(ベトナムにおける母子・成人保健)
4. 災害対応関連

講座・部門からのメッセージ

患者さんの診断、治療、予後等のデータを分析し、もっとも適切な臨床判断を行うのが臨床疫学です。当講座では、大学院生の専門分野における臨床疫学の習得を目標として、国際誌への論文掲載を目指します。

当講座が地域で行っている疫学研究にも参加することにより、市町村／都道府県／国、さらには諸外国とさまざまなレベルの政策形成に関われる可能性があります。

質の高い疫学研究をやりたい方、臨床研究に興味関心のある方は、是非、一度、話しに来て下さい。